



### 厚生常任委員会 視察

8月23日、委員長を務める県議会・厚生常任委員会で県内の所管する施設や民間の福祉施設を視察しました。皆さんは「視察」と聞くとあまり良いイメージが湧いてこないのではないのでしょうか。

**私見ですが県内の関連施設を視察する意義と目的は、地域の現状と課題を直接確認し、住民のニーズを的確に把握することにあります。また現地での視察を通じて、施設の運営状況や設備の老朽化、利用者の声を直に聞くことで、行政の施策が地域に適切に機能しているかを検証します。さらに地域住民や施設関係者との対話を通して、県政に反映すべき具体的な改善点や課題も明らかになります。**

### ① 清水が丘学園

熊本市北区打越町

清水が丘学園は不良行為を犯す、あるいはそのおそれのある児童や家庭環境等の理由により生活指導等を要する児童を入所させる、または保護者のもとから通わせることで、個々の児童の状況に適切な必要な指導を行うことで、児童の自立を支援し、あわせて退所した児童についても相談・援助を行っています。

今回、様々なデータをもとに学園における指導方針・内容、進路指導や家庭調整の実情について調査を行いました。↓



※職員の方々との意見交換で職員の退職やメンタル不調など、職員に数名の欠員が出ており、代替職員を2回募集したが応募がなく、欠員が埋まらず苦慮している状況にあること。時代の変遷とともに入所する児童、家庭への対応に配慮が求められる、特に児童の権利を擁護しつついかにより良い指導を進めるか、苦悩していらっしゃる方が印象に残りました。

遷とともに入所する児童、家庭への対応に配慮が求められる、特に児童の権利を擁護しつついかにより良い指導を進めるか、苦悩していらっしゃる方が印象に残りました。

### ② 動物愛護センター 『アニマルフレンズ熊本』 宇城市松橋町

動物愛護センター『アニマルフレンズ熊本』は、本年3月に開所し「命を大切にし、やさしさあふれる人と動物が共生するくまもと」の実現を目指す拠点として、県内（熊本市を除く）の各保健所から搬送されてきた犬や猫を保護（訪問時の収容頭数は、犬43頭、猫55頭）しています。保護している犬猫の情報はホームページやSNSで公開し、月に1度、休日譲渡会を開催しています。また飼い主のいない猫の避妊去勢手術の無料実施や、今後、県内（熊本市を除く）小学校等の児童に對して動物とのふれあい方等の「いのちの教室」を実施することで広く県民への愛護啓発・教育に取り組みます。↓



※開所式に参列してから半年が経過しましたが、既に県内外から4千人を超える方々が来所されています。センター内には譲渡会を通してもらい受けた方々からの犬や猫の近況を綴った写真付きの便りが掲示されていました（開設以降の犬猫の譲渡実績は、犬40頭、猫27頭）。手書きの文面を一つ一つ読みながら、センターが動物を愛する人たちの心にはっきり定着しつつあることを実感したのでした。



### ③ 特別養護老人ホーム千寿園

球磨郡球磨村 渡

千寿園は令和2年7月の豪雨災害で旧施設が被災し、入所されていた14名の方がお亡くなりになる痛ましい出来事を経験されました。被災後は人吉市内の仮設施設で事業を継続、移転・復旧工事も災害復旧費補助金が見込みより約2億円減額になり、資金繰り等、苦しい状況下にありました。本年1月、新しい施設として事業を再開し、豪雨からの創造的復興のシンボルとなっています。当日はコロナ感染症防止のため利用者の皆さんとの接点は見合わせて、建物の外から最新の構造の説明をしていただいたのでした。（裏面へ続く）



※人口減少が進む中、決して大きくない、しかも被災した自治体からすると、福祉施設の利用・入所者や働く職員の確保もままなりません。今回、

(1)災害対応、復旧・復興過程で苦慮したこと

(2)被災体験を踏まえて新施設で工夫したこと

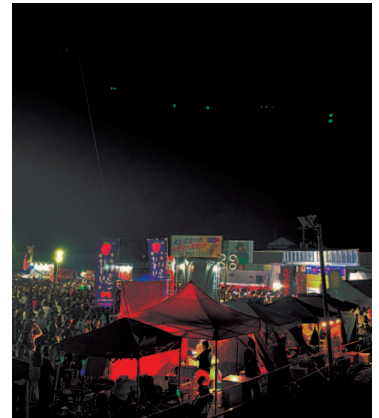
(3)今後行政に望むこと

を聴取し、自治体同士の横の連携を含めた柔軟な対応ができないか、施策の情報や隔々まで届ける大切さを痛感したのでした。

**今回の視察で得た知見をこれからの予算配分や政策立案時に現場の実情に基づいた判断を今まで以上に心してまいります。また視察に対する「不信」の払拭のためにも**

【視察】  
↓【確認】↓【検証】  
↓【審議・立案】↓  
【反映】というサイクルを通して県民に提示してまいります。

### 城南夏祭り



「子供たちに地域での良い思い出を残したい！」を合言葉に9月7日(土)スパーダイノブ駐車場及び浜戸川の河川敷で城南夏祭りを開催しました。

ステージでは下益城城南中学校吹奏楽部や火の君太鼓の演奏、くまモン・火の君古代くんショー、城南音頭総踊り、商工会女性部・YUNAYON・城南ch er UP! Girls等のダンスやLIVEが披露されました。

また会場では「うちわ造り体験」や「城南町で栽培されたバナラを使用したバナラシエイク」の販売会、中学生ボランティア活動の一環として「就業体験」も行われました。

会場や河川敷には県内各地から誘致した露店・キッツチンカーなど80店舗が並びましたが、当初、浜戸川の河川敷の使用について関係窓口に相談したところ難色を示されました。そこでかねてから商工会と親交のある高島和男県議に相談し、改めて関係機関と協議を進めた結果、河川敷を利用することが出来ました。

おかげで当日は各ブースに多くのお客様が列をなし、各地の名産をお買い求めいただきました。そして夜も深まってきた8時：カウントダウンの後、一斉に花火が上がリ夏の夜空を彩り多くの観客を魅了し祭りのフィナーレを飾ったのでした。



今回、夏祭りを開催するにあたり地域の自然の魅力を最大限に活かし、ひとづくり・まちづくり・ものづくりのエッセンスを入れ、地域活力の原動力として奔走し実施しました。結びに関係各位、及び協賛・協力いただいた皆様のお陰で開催・終了できたことに感謝致します。

- 《城南夏祭り実行委員会》
- ・熊本市城南商工会青年部
  - ・TEAM城南ワンダホー
  - ・城南輪っ活隊

### 9月定例会を終えて

9月11日から10月4日までの日程で県議会9月定例会が開かれました。今回は約54億円の補正予算等を審議、可決しました。

主なものとして先の梅雨前線による大雨で被害が出た道路や河川の護岸などの施設復旧に30億5200万円。赤潮で死んだブリやカシパチ等の養殖魚の代わりとなる新たな魚の購入補助などに1億2000万円がありました。

その他に目まぐるしく変化する内外の情勢に臨機応変に対応できるように県庁内の組織改編を一部行ったのでした。

